

会 議 録

会議名称	沼田市市民活動センター運営委員会 第6回会議	
開催日時	平成24年5月25日(金) 午後2時～午後3時30分	
出席者	宮崎委員長、林副委員長、倉澤委員、三河委員、角田委員、上原委員、田辺委員 以上7名 (欠席：武井委員、小林委員、千代田委員) 伊藤生活課長、石井協働推進係長、鈴木チーフ、山下	
協議事項	(1) 23年度事業実績及び24年度事業計画について (2) 市民活動センターの運営方法について (3) その他	
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成23年度沼田市市民活動センター「ぬまたん家」事業活動結果(資料1)、別紙①・②</li> <li>○ 平成23年度沼田市生活課 男女共同参画事業結果 参考</li> <li>○ 平成24年度沼田市市民活動センター「ぬまたん家」事業計画(案)(資料2)</li> <li>○ 平成24年度沼田市生活課 男女共同参画事業計画(案)</li> <li>○ 市民活動センター運営に関する報告書抜粋(資料3)</li> <li>○ 市民活動支援センター等県内の設置運営状況 参考資料</li> <li>○ 沼田市市民協働によるまちづくり事業補助金チラシ</li> <li>○ 第5回「ぬまたん家」みんなの発表会チラシ</li> </ul>	
審議状況	(1) 審議経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スタッフ紹介。</li> <li>○ 宮崎委員長あいさつの後、協議に入った。</li> <li>○ 事務局より、協議事項を説明後、意見を聞いた。</li> </ul>
	(2) 結論	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 23年度事業実績及び24年度事業計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度事業活動結果の報告により不足していた資料の説明をし納得を得た。24年度事業活動計画案の報告をし、了承を得た。</li> </ul> </li> <li>○ 市民活動センターの運営方法について <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年1月にセンターを開設・運営状況の説明。今後の運営方法について意見を求め、他市民センターの運営状況等の資料収集をし、運営方法については継続して検討していくことで了承を得た。</li> </ul> </li> <li>○ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>「まちづくり事業補助金追加募集」についてチラシの配布、周知依頼。</li> <li>第5回ぬまたん家発表会についてチラシの配布、参加依頼。</li> </ul> </li> </ul>

## 主 な 意 見

- 23年度事業実績及び24年度事業計画について
  - (委 員) 印刷機の関係で、コピー使用料とはリース代のことか。利用実績として一割に満たないお金が利用者から入っているが、市の収入として入っているのか。
  - (事務局) 資料に載せてないが、印刷機とコピー機の使用料を諸収入として市の収入に入れている。
  - (委 員) コピーも印刷機も業者に払う使用料がかなり多いが、実際に利用者からもらっているお金は、かなり少ないということか。
  - (事務局) 用紙代やインク代等の消耗品代分くらい。
  - (委 員) 市民活動センターは2年ちょっと前に立ち上げて協働に力を入れてきたと思うが、感触としてどのくらいの割合で進んでいると思うか。  
また、庁内で部長も参加して市民協働の推進会議がもたれているが、どうしたら活発な市民協働が出来るのかを検討していると思う。庁内の推進会議の内容全部は求めないが、なにか大きいのがあると思うので、参考に聞かせてほしい。
  - (事務局) 市民協働を庁内でどう進めていくか、その方向性を庁内委員会で検討して貰う。出された意見を市民活動センターの運営にも活かしていくように進めている。市民活動センターの進捗状況としては、利用者もだんだん増え広まってきたと感じている。パーセントで言うのは難しいが、開設後一生懸命やってきた。
  - (委 員) 行政の方でも少し問題を投げかけてもいい。何か目標を構えるとかが必要と思う。
- 市民活動センターの運営方法について
  - (事務局) 今後の運営方法について、沼田市に合った公設民営のセンター作りについてどのように検討を進めて行けばよいのか、ご意見を伺いたい。
  - (委 員) 民営化にするための条件として何を整えればよいか、理念はあるのか。民営化の為の課題、解決策や情報があるのか。
  - (事務局) ゆくゆくは民営化ということで進めてきているが、課題としては、実際には人的な問題、経費の問題が難しいと考えている。
  - (委 員) 公設民営となり経費もすべてもらえるのか不安だし、問題は人の育成。
  - (委 員) 各市町村の実態は解るが、公設と民営では市民にとってどちらがよいのか。また、何が変わるか。民営になって良いか悪いか、要は使いやすければ良いのではないか。
  - (委 員) ボランティアを利用していかないと市民協働はうまくいかない。加入している団体が一生懸命やらなかったら進まない。そこから掘り起こしていくことも必要。
  - (委員長) 社会貢献したい気持ちは皆持っている。そこをうまく展開したらどうかという意見。
  - (委 員) ぬまたん家を通しての活動ができていない。その体制作りも必要ではないか。団体を作ってもどこでどのように発表していいかわからない団体もある。
  - (事務局) 発表する機会として「ぬまたん家発表会」があるが、実際には参加者が少なく、各団体の人たちが見に来てくれればもっと盛り上がる。目指してはいるところ。  
登録団体の情報掲示方法とすると情報紙やホームページがあるが、ボードみたいなもので各団体に活動紹介を作ってもらい場所を決めて掲示することも考えている。
  - (委 員) 例えば来年に向けて、一年かけて予定を立てて、展示発表なり、お祭りなりをするのはどうか。急に言われても対応できない。
  - (委員長) 実際にやっていくとなると、参加者も声かけをしないと集客は難しい。その辺りのところを踏まえ継続的に考え、より良い方向に進めていくことが必要。  
民営化については、次の機会までに具体的な資料の準備をお願いする。
- その他
  - (事務局) 「まちづくり事業補助金追加募集」についてチラシにより報告と周知依頼。  
「第5回ぬまたん家発表会」についてチラシにより報告と参加依頼。